大沼由紀舞踊公演
sonora
ー音の行方ー
大沼由紀・バイレ
川島桂子・カンテ
西容子・カンテ
山内裕之・ギター
あいしまなおき・ギター
伊集院史朗・パルマ
大沼由紀フラメンコ舞踊団〈石垣ひろみ 沖山美環 荻野静香 伊藤千紘〉・バイレ
2015年 4月11日㊏
開演 19:15（開場 18:45）
野方区民ホール（野方WIZ地下2階） 全席指定 5,500円（当日券 6,000円）
［チケット申し込み・問い合わせ］ sonora@y-mobile.ne.jp Tel.070-5464-1971（Sonora公演事務局）

大沼由紀舞踊公演

Sonora

―音の行方―

大沼 由紀

フラメンコ舞踊を佐藤佑子に師事。1992年渡西。マドリッド、セビージャに滞在後、ヘレスのフラメンコに強く傾倒し、帰国後も短期渡西を繰り返しながら、フラメンコと自身の関係を探り続けている。2004年、ヘレスからアーティストを招聘し、第1回大沼由紀舞踊公演“Espontánea”〜フラメンコ、自然発生的な〜を行う。翌年、同作品がスペイン舞踊振興マルワ財団の助成対象作品に選ばれ、再演を果たす。2007年、マドリッドのフラメンコフェスティバル「SUMA FLAMENCA」に出演。同年再びヘレスからアーティストを招聘し、“EspontáneaⅢ”を行う。2008年、DVD「自宅でクルシージョ 7−息づかいを身体へ−」(株・パセオフラメンコ)発刊。舞踊家として活躍する一方、後進の指導にも力を注いでいる。

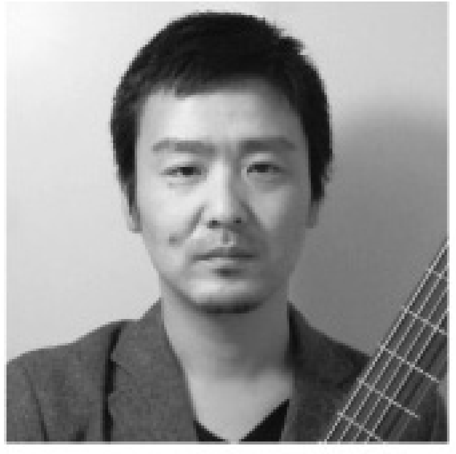
川島 桂子

ペペ島田らの下でコンパスを学びつつカンテを独習。渡西を繰り返す中で、スペイン国宝級の歌い手であるファミリア・アグヘータらと親交を深めながら、その気風と演唱を身に付けた。1996年、第5回日本フラメンコ協会新人公演奨励賞受賞。多くの舞踊家の伴唱をつとめる他、ジャンルを越えたミュージシャンとの共演や、日本語カンテによる出演など実験的な舞台にも参加。カンテ・ソロの分野にも意欲を燃やす、数少ない日本人カンタオーラの一人。

西 容子

1999年より瀧本正信にカンテを師事。スペインアンダルシア地方ヘレス・デ・ラ・フロンテーラのフラメンコに魅せられ、短期渡西を繰り返す。名門ルビッチ一家の歌い手、エバ・ルビッチに師事しながら、フラメンコを探求している。2012年、師である瀧本氏の還暦ライブ「El viento de Andalucía」において、ドミンゴ・ルビッチ、エバ・ルビッチとの共演を果たす。

山内 裕之



1974年、北海道函館市生まれ。10代の頃から編曲・作曲・音響の仕事を始める。2003年、仕事で出会ったフラメンコに魅了されフラメンコギターを始める。2004年渡西。ヘレスの巨匠、故パリージャ・デ・ヘレスに師事。2008年から拠点を東京に移し、タブラオ、舞台などで活躍中。

あいしま なおき

1971年京都市生まれ。高校時代に偶然テレビで観たフラメンコギターの迫力に衝撃を受ける。1996年独学でフラメンコギ ターを始め、1998年に渡西しセビージャにてミゲル・セラーノに師事。現在は今田央に師事し、クラス伴奏、発表会、その他イベントを中心に経験を積みつつ活動中。

伊集院 史朗

2001年日本フラメンコ協会新人公演にて奨励賞受賞。2002年「クアトロカミーノ」結成。2006年マリア・パヘス「Sevilla」日本公演に出演。2007年マドリード「SUMA FLAMENCA」に出演。パルマ(手拍子)でのレコーディングも多数。現在、全国の劇場等で活動中。

大沼由紀　フラメンコ舞踊団

石垣 ひろみ

沖山 美環

荻野 静香

伊藤 千紘

振付・構成：大沼 由紀

舞台監督：やまだ てるお　モモ プランニング(有) ｜ 音響：三上 修次　(株)東京音研 ｜ 照明：林 三紗子 ｜ 宣伝美術：秋山 薫子

2015年 4月11日㊏

開演 19：15（開場 18：45）

野方区民ホール（野方WIZ地下2階）　西武新宿線野方駅徒歩3分

全席指定 5,500円（当日券 6,000円）

［チケット申し込み・問い合わせ］

sonora@y-mobile.ne.jp　Tel. 070-5464-1971（Sonora公演事務局）

Fax. 03-3319-2280　エストゥディオブレーニャ

後援：一般社団法人 日本フラメンコ協会　セルバンテス文化センター東京